

平和

ドラマ×マンガ 特攻兵の幸福食堂

放送日：2021年8月11日 放送時間：59分



対象校種 小学校高学年 中学校 高校

対象教科 総合 社会

この番組の良さ



● 分かりやすく特攻を学べるドラマ

本番組は、あるマンガ家が、太平洋戦争で行われた「特攻」について作品を完成させるまでの日々を描く物語です。マンガ「ちらん～特攻兵の幸福食堂～」（魚乃日三太著）を随所に織り交ぜながら進行する新感覚のドラマです。

ドラマ×マンガという新しいスタイルによって小学生からでも抵抗なく見ることができ、「特攻」という重いテーマを分かりやすく伝えてくれます。

● 命の尊厳を無視した過酷な作戦

特攻作戦は、戦闘機等で敵の艦船に体当たりして沈める作戦であり、パイロットは必ず「亡くなる」運命にありました。この作戦では、特攻隊員が多くの基地から出撃していますが、全特攻戦死者1,036名のうち半数近くの439名が、本土最南端である知覧基地から出撃しています。

この番組を通して、戦争の時代に起きた命の尊厳を無視した過酷な作戦の全容を知ることができます。

番組活用のポイント

● 「特攻作戦」から 命の尊さや平和の大切さを学ぶ

戦争と縁遠い世代の視聴者に戦争について考えてもらうために「ドラマ×マンガ」第4弾として放送されたのが、本番組『特攻兵の幸福食堂』です。

中学校学習指導要領社会科解説編では、「各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、我が国の国民が大きな戦禍を被ったことなどから、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解できる」ようにすることを求めています。また、平和学習においても、沖縄戦や広島・長崎への原子爆弾の投下について学び、修学旅行等でも訪問を実施している学校も多いでしょう。しかし、それ以外にも太平洋戦争では様々な戦禍や惨禍が起きているのも事実です。その一つに「特攻作戦」があります。それは、爆弾を積んだ戦闘機や小型艇、潜水艇に兵士が乗り込み、敵の艦船に体当たりして沈める攻撃です。太平洋戦末期に日本軍が組織的に行った、決して生きて帰ることのない作戦です。特に沖縄での陸軍による航空特攻作戦は、米軍が沖縄南西にある慶良間列島に上陸した1945年3月26日から始まり、多くの若者の命を奪いました。

番組を活用することで、南九州に集中した出撃基地の一つである鹿児島県知覧飛行場での特攻作戦の全容を知ることができます。また、出撃を命じられた若い兵士たちや、それを見送る食堂の人々の思いに触れることにより、命の尊さや平和の大切さについて考えることができます。

● 特攻隊員の素顔について知る

特攻作戦は、決して生きて帰ることのない戦い方であり、多くの若者の命を奪っただけでなく、攻撃を受けた連合軍の将兵たちにも圧倒的な恐怖を与えました。では、特攻隊員は血も涙もない冷徹な若者たちだったのでしょうか。今の高校生や大学生と同じ年代である特攻隊員がどのような若者だったのかについて注目して番組を視聴することで、全く知らなかった特攻隊員たちの素顔について知ることができます。



執筆者

西原町教育委員会

指導主事

甲斐 崇